

令和元年度（2019年度）行政評価シート【個表】

令和元年7月9日

評価対象事業		評価者	議会総務課長 茶木 久美子		
議会-02	実施事業	広報・会議録作成発行事務	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課	議会総務課
			<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課	議事調査課
総合計画上の位置付け	分野	市民自治	施策の方針	市民自治	

1 事業の目的

対象	市議会議員等
意図	市議会の円滑な運営 市議会の機能の強化のため
効果	市議会の円滑な運営と活性化を図る

2 平成30年度(2018年度)に実施した事業の概要

<ul style="list-style-type: none"> ・議会だよりを作成・発行した。 ・議会報告会を実施した。

3 事業費等基礎データ

データ区分	29年度(2017年度)決算		30年度(2018年度)決算		01年度(2019年度)当初予算		備考
	人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数	
人口等のデータ	176,466人	81,150世帯	176,308人	81,763世帯	176,436人	82,444世帯	・各年3月31日(住民基本台帳)
事業の対象者数							
運営資源状況	決算値(千円)	23,348	4,281	当初予算(千円)	4,653	29年度決算については、「議会事務局(1課)」として事業を実施したため、事業全体の決算額を両課のシートに記載	
	国県支出金			国県支出金			
	地方債			地方債			
	その他			その他			
	一般財源	23,348	4,281	一般財源	4,653		
事業経費運営	人員配置数	6.5	1.5	人員配置数	1.5		
	人件費(千円)	50,464	11,507	人件費(千円)	11,895		
	総事業費(千円)	73,812	15,788	総事業費(千円)	16,548		
	市民1人当りの経費(円)	418	90	市民1人当りの経費(円)	94		
	対象者1人当りの経費(円)			対象者1人当りの経費(円)			

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効 率 性	事業費に削減余地はないか	2. ない
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない
妥 当 性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	9. 実施が義務付けられており(法定受託事務等)、ニーズに応じて実施する事業ではない
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい	9. 実施が義務付けられており(法定受託事務等)、廃止・休止はできない
有 効 性	事業の成果は得られているか	9. 実施が義務付けられており(法定受託事務等)、成果を計ることはなじまない
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	3. 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
公 平 性	受益者負担は公正・公平か	△.負担未導入
		△-3. 受益者が特定できないため、受益者負担を求めることができない
協 働	市民等と協働して事業を展開しているか	○-2. 既に市民等と協働して適切に事業を実施している
		△.協働未実施 協働実施済の場合のパートナー

事業内容の方向性	<input type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す ⇒	見直しの種類	<input type="checkbox"/> 拡大	見直しの内容	
	<input checked="" type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする		<input type="checkbox"/> 縮小		
	<input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する		<input type="checkbox"/> その他		
	<input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する ⇒				事業へ統合
予算規模の方向性	<input type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由	「開かれた議会」の推進を図るため、今後も継続して議会だよりの作成・発行を行う。		
	<input checked="" type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする				
	<input type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する				

総評(評価に対する考え方、根拠等)	<p>・鎌倉市議会基本条例第6条により規定される、積極的な情報発信と共有を推進し、説明責任を果たすよう、議会だよりの作成・発行に努めた。</p> <p>・今後も、議会報告会等を充実させることで、「開かれた議会」に向けて、市民からの意見を取り入れながら、内容の充実に努めていく。</p>
-------------------	--

平成30年度(2018年度)事業実施にあつた課題(前年度未解決の事項を含む)	市民との情報共有、市民への説明責任のため、適切な議会だよりの紙面構成、作成体制等を検討する。	
課題解決のために行った平成30年度(2018年度)の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・県内各市の議会だよりを収集し、紙面構成を確認し研究した。 ・議会中継のスマートフォン及びタブレット端末対応については議会だよりの、議会ホームページで周知を図った。 	<input type="checkbox"/> 解決 <input checked="" type="checkbox"/> 一部解決 <input type="checkbox"/> 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由	引き続き、より見やすい紙面構成や、的確な情報提供を目指して、議会広報委員会で検討を進める。	

◎ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項	議会広報紙の作成者(事務局…○、議員と事務局…△、議員…×)									
団体名										
他市実績	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	南足柄市	横須賀市	逗子市	横浜市	
	△	○	△	△	○	○	×	△	○	
比較事項	議会広報におけるフェイスブック、ツイッターの活用(実施済…○ いずれかを実施…△ 未実施…×)(H31.3. 31時点)									
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横浜市	横須賀市	逗子市	三浦市	
他市実績	△	×	×	×	×	○	×	×	×	
	フェイスブック									
当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方	・議会だよりの内容の充実に向けた検討を進めるため、作成主体についてベンチマークとして設定した。 ・「本会議・委員会等インターネット中継におけるスマホ対応の実施」「議会広報におけるフェイスブック、ツイッターの活用」については、現在、一部の市議会で先進的に実施している。「開かれた議会の実現」に向けて、市議会からの情報発信ツールとして、今後も先進市の取り組みを調査・研究し、活用していく。									

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	単位	指標の傾向		備考				
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)	
	目標値							
	実績値							
	達成率							
当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方								